

## 令和7年度 第6回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

- 1 日 時 令和7年9月3日(水) 13:30~14:40
- 2 場 所 大学本館2号館4階 多目的ホール
- 3 出席者(14名)(敬称略、選出区分順)  
学内: 中山、齋藤、長田、矢寺、足立、石丸、立石(和)、石田尾、東、藤野、檜本  
学外: 安元、田中、早川  
欠席者(2名)  
学内: 三輪  
学外: 櫻井

### 4 報告事項等

#### (1) 令和7年度 第4回迅速審査小委員会について

齋藤迅速審査小委員会委員長から、席上配付資料に基づき、3件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を小委員会委員長が確認したので承認することとし、内容は資料のとおりである旨の報告があった。

- ① 研究責任者: 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 副技師長 比嘉 幸枝  
研究課題名: HbA1c 測定器 ADAMS A1c HA8190-V を用いた溶血判定に関する検討  
審 査 要 旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者: 産業保健データサイエンスセンター 学内講師 藤本 賢治  
研究課題名: 介護データを活用した2040年を見据えた地域の介護サービス提供体制の構築及び科学的介護の推進に向けた研究  
審 査 要 旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者: 高年齢労働者産業保健研究センター 教授 財津 将嘉  
研究課題名: 労働者の健康関連アウトカムと関連する労働環境および修正可能な因子の包括的分析  
審 査 要 旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

また、中山委員長から、一括審査をする研究のうち他の施設が代表研究機関、本学が共同研究機関となっている研究(代表研究機関で審査及び承認済み、本学では実施許可のみ)について、今後は迅速審査小委員会で内容を確認していただくこととする旨の発言があった。

#### (2) 継続審査判定(令和6年度第11回本委員会審査分)の研究の取り下げについて

研究責任者: 医学部 薬理学 講師 有岡 将基  
研究課題名: 高温多湿環境とエネルギードリンクが労働者の循環動態に与える影響の検討  
理 由: 倫理委員会での指摘事項を踏まえ当研究室で検討した結果、研究の実施が難しいと判断したため。(※申請者からの取り下げ)

### 5 審議事項等

#### (1) 令和7年度 第5回 産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)について

中山委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

## 6 研究倫理審査

### (1) 新規申請

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 有期助教 森 貴大  
研究課題名： 定期健康診断における自覚症状検査の実施内容の体系的整理  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

#### [指摘事項]

○倫理審査研究計画書 4. 実施計画 b) 研究の具体的方法

- ・逐語録の作成方法を記載する。

- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 助教 森 貴美代  
研究課題名： 暑熱環境下における作業中の頸部冷却による体温上昇抑制効果の検討  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

#### [指摘事項]

○倫理審査研究計画書 19. 研究対象者の経済的負担及び研究対象者への謝礼の有無と  
その内容 【謝礼の有無】

- ・現金を支給するとの記載になっているが、現金又はクオカードのいずれかを支給するという記載に修正する。

○参加者募集の掲示物 「■内容」

- ・「例文：」という不要な文言が記載されているため削除する。

- ③ 研究責任者： 産業医実務研修センター 助教 田口 要人  
研究課題名： 従業員参加型職場環境改善活動の実施における阻害・促進要因分析と実装戦略の策定  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

#### [指摘事項]

○インタビューガイド

- ・「音声録音について、また守秘義務の保証と質問への回答方法について説明」  
ア「録音テープ」→「録画」に修正する。  
イ「お答えしたくない質問」→「答えたくない質問」に修正する。

- ・「Ⅲ. 実施前の経験 ★あなたの職場では、職場の困りごとに対して、すでにどのような対応をしていましたか」  
ア「労働者の注意の『競争』」の表記について、文言を再検討する。

- ・「Ⅶ. 費用 ★従業員参加型職場環境改善活動に参加するために、どのような資金援助を受けましたか、★従業員参加型職場環境改善活動を実施する際に、資金面での制約はありましたか」  
ア それぞれの探索質問について、明瞭に記載する。

- ・「Ⅷ. 全体的な経験 ★上司は従業員参加型職場環境改善活動がなくても、働きやすい職場づくりをすべてできていると感じますか」  
ア「それはなぜですか、それともなぜですか」と記載されているため、「それともなぜですか」を削除する。
- ・質問項目を減らし、探索質問についてはすべてを聞く予定ではないことが分かるように記載する。

- ④ 研究責任者： 産業医実務研修センター 助教 五十嵐 侑  
研究課題名： 産業医の倫理的葛藤経験の類型化に関する研究  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 研究対象者の自由な選択と同意撤回の保障 【同意撤回について】  
・「いつでも同意撤回できる」と記載されているが、再検討する。

(2) 新規申請（中央一括審査）

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 助教 松垣 竜太郎  
研究課題名： 事業所で実施される体力測定データ等を活用した労働者の健康に関する調査  
研究代表機関： 産業医科大学  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、確認の上、委員長が提出されたものの内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

- ・ダイハツ九州株式会社でストレスチェックを実施する際にデータを研究に利用する可能性があることが説明されていないのであれば、当該データを利用するのは難しいと思われるため、確認する。

○オプトアウト文書

- ・タイトルが「『事業所で～労働者の健康に関する調査』への参加者の方へ」となっているが、「2023年度・2024年度に健康診断、ストレスチェック及び体力測定を受けた方へ」というような文言に修正する。

- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅  
研究課題名： 陸上貨物運送業を対象とした複合型腰痛予防介入アプローチの効果検証  
研究代表機関： 産業医科大学  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久  
研究課題名： 要介護の状況を踏まえた高齢者の不定愁訴及び慢性疾患に対する漢方治療の現状分析

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ④ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 河村 洋子  
研究課題名： 中堅看護師の離職防止対策の検討  
—離職経験のない中堅看護師への研修支援に関するインタビュー調査—  
研究代表機関： 令和健康科学大学  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(3) 変更申請（中央一括審査）

- ① 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸  
研究課題名： オルトーフタルアルデヒドの「健康影響とばく露濃度の関係」および「ばく露低減対策」  
研究代表機関： 産業医科大学  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： エコチル調査産業医科大学サブユニットセンター センター長 辻 真弓  
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）  
研究代表機関： 国立環境研究所  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰臣  
研究課題名： 労働者の抑うつ・不安の予防に対する職場の組織的介入の効果検証：多群間比較クラスター無作為化試験 (Multifaced ORganizational InterventiONs, M-ORION Project)  
研究代表機関： 北里大学  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(5) 変更申請

- ① 研究責任者： 医学部 小児科学 助教 川村 卓  
研究課題名： 児童福祉施設・小中学校におけるアレルギー疾患の管理に関する調査  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 医学部 小児科学 助教 水城 和義  
研究課題名： 子どもの入院による親の就労への影響に関する調査  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 健康開発科学 講師 姜 英  
研究課題名： 有酸素運動、筋力トレーニングによる健康の保持・増進効果の検証ならびに健康の保持・増進に必要な運動量の探索  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

6 その他

- (1) 研究終了報告 4 件及び進捗状況報告 16 件について、別紙のとおり承認された。

## 研 究 終 了 報 告

| 承認番号   | 研究責任者  | 所 属         | 職 名 | 課 題 名                                          |
|--------|--------|-------------|-----|------------------------------------------------|
| R4-044 | 原田 有理沙 | 両立支援科学      | 助教  | 治療と仕事の両立支援における患者の仕事映像コンテンツ開発と有用性評価             |
| R4-039 | 山田 晋平  | 安全衛生マネジメント学 | 講師  | ヘルムホルツ・コールラウシュ効果を考慮した背景色と呈示色の組み合わせの違いが疲労に与える影響 |
| R4-040 | 山田 晋平  | 安全衛生マネジメント学 | 講師  | 深呼吸と足浴の組み合わせによる自律神経活動への影響                      |
| R4-043 | 江口 尚   | 産業精神保健学     | 教授  | 治療と仕事の両立支援を必要とする復職後の患者に対する離職要因を検討するための調査       |

## 研 究 進 捗 状 況 報 告

| 承認番号     | 研究責任者   | 所 属       | 職 名  | 課 題 名                                                                         |
|----------|---------|-----------|------|-------------------------------------------------------------------------------|
| R4-048   | 足立 弘明   | 神経内科学     | 教授   | 細胞による神経変性疾患の治療法の実用化に向けた研究                                                     |
| R4-049   | 足立 弘明   | 神経内科学     | 教授   | ALS患者由来iPS細胞を用いた治療法の開発研究                                                      |
| ER24-022 | 二ツ矢 浩一郎 | 放射線科学     | 学内講師 | XR (クロスリアリティ) を活用したIVR (画像下治療) の手技および職業被ばくに関する教育プログラムの開発                      |
| R2-027   | 佐藤 寛晃   | 法医学       | 教授   | 陳旧死体の腐敗性アミン濃度の検討                                                              |
| ER23-035 | 川村 卓    | 小児科学      | 助教   | 児童福祉施設・小中学校におけるアレルギー疾患の管理に関する調査                                               |
| ER24-023 | 榎原 毅    | 人間工学      | 教授   | バーチャルリアリティ利用中の生体情報によるメンタルヘルス・モニタリング手法の構築<br>ーHead Mounted Displayによる測定手法の標準化ー |
| ER24-036 | 永野 千景   | 産業保健管理学   | 講師   | 暑熱作業におけるアイスラリー冷蔵庫を利用した体温上昇抑制効果に関する研究                                          |
| ER23-009 | 永野 千景   | 産業保健管理学   | 講師   | 職場における個人情報保護と活用に関する意見調査                                                       |
| ER23-058 | 永野 千景   | 産業保健管理学   | 講師   | 暑熱環境下での運転作業におけるチラーを用いたシート冷却による体温上昇抑制効果の検討                                     |
| ER23-022 | 永野 千景   | 産業保健管理学   | 講師   | 労働現場における騒音リスクの個人ばく露計による評価                                                     |
| ID24-008 | 江口 尚    | 産業精神保健学   | 教授   | 休職者に対するハイブリッド・リワークプログラム (Hybrid Return to Work: HR2W) の効果: 実行可能性研究            |
| ER23-036 | 大河原 眞   | 環境疫学      | 助教   | 女性の健康に関連した産業保健活動の確立に向けたインターネット調査 (厚生労働科学研究費23JA1005)                          |
| ER24-035 | 藤野 善久   | 環境疫学      | 教授   | 日本の女性パイロットが働きにくさを感じるプロセス                                                      |
| ER24-032 | 大神 明    | 作業関連疾患予防学 | 教授   | 新たに考案された特殊健診問診票の導入に関する研究                                                      |
| ER24-029 | 安藤 肇    | 作業関連疾患予防学 | 学内講師 | VR技術を用いた遠隔職場巡視の現場活用に関する研究                                                     |
| IDR4-003 | 井上 彰臣   | IR推進センター  | 准教授  | 職場の心理社会的安全風土と労働者の健康に関する縦断研究                                                   |